

第2回千葉大みらい医療基金医学研究助成事業授与式が行われました

千葉大学医学部では令和4年11月1日（火）、医学系総合研究棟4階セミナー室1において「第2回千葉大みらい医療基金医学研究助成事業※（令和4年度）授与式」が行われました。

今回採択された若手研究者による研究の概要発表及び質疑応答後、清水特任助教から千葉大みらい医療基金に関する紹介があり、最後に松原医学研究院長より採択された研究者へ賞状の授与がありました。寄付者の皆様からの貴重なご支援を大切に活用し、現在の医学の限界にチャレンジをし続け、研究成果を1日も早く「新しい治療」という形で社会実装できるよう、感謝の気持ちをもって全力で取り組むことを全員で誓いました。

※千葉大みらい医療基金に寄せられた寄付金を活用した研究助成事業

本事業では、革新的な治療学研究の活性化を目指して大学院医学研究院もしくは医学部附属病院に所属する若手教員および大学院生の中から厳正なる審査のもと、研究費の助成を行っております。

【研究助成授与者／研究課題名】

1. **岡部 篤史 分子腫瘍学 助教**
「CAEBVにおけるウイルス-ホストゲノム相互作用によるエピゲノム異常の解明」
2. **横山 真隆 分子病態解析学 助教**
「臓器特異性から解き明かす心臓血管内皮細胞特有の分子機構と動脈硬化反応」
3. **青木 孝浩 免疫細胞医学 助教**
「キメラ抗原受容体発現 iPS 細胞由来 NKT 細胞を用いた白血病に対する免疫療法の開発」
4. **五島 悠介 泌尿器科学 助教**
「ゲノム編集技術に基づく癌横断的な合成致死遺伝子の探索」



左から
千葉大みらい医療基金室長 大鳥精司 教授、
岡部篤史 助教、横山真隆 助教、
青木孝浩 助教、五島悠介 助教、
千葉大みらい医療基金運営員会 三木隆司 教授
大学院医学研究院長 松原久裕 教授

(記念撮影時のみ、新型コロナウイルス感染症
拡大防止対策のもと、マスクを外しています。)

千葉大みらい医療基金は、医学教育の充実と医学研究の推進、その成果をもとに附属病院と協力して医療の向上に貢献すること、最先端の医療を国民の皆様幅広く還元し健康を増進することを目的として2020年4月に設置されました。設立以降これまでに企業や多くの皆様のご支援により、5億円以上のご寄付が寄せられております。未来の医学研究・発展のためにも、今後もお寄付にご賛同いただいた皆様とのより一層の交流に邁進して参ります。

千葉大みらい医療基金ホームページ

<https://www.mirai-fund.chiba-u.jp/index.html>